



# ドングリ迷路

梵珠少年自然の家

## 1 活動のねらい

- 手作りの作品で遊ぶ楽しさを味わうことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など 中学校：技術・家庭など

## 2 活動の概要

ドングリや木の枝などの自然物の特徴を活かし、不規則に転がるドングリがうまく転がるよう工夫して迷路を作ります。



<作品例>

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 小学校5年生～中学生・高校生
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 2～3時間（説明15分+活動105～165分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2
- (6) 経費 60円／1作品
- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

## 3 準備物

団体	救急薬品
個人	軍手、作品を持ち帰るためのビニール袋など
自然の家	材 料：A4版程度の板、ドングリや松ぼっくり、小枝などの自然物 木の輪切り（5個／1人）、麻紐、豆類（黒豆は5個／1人） 竹の端材（5個／1人） 用 具：ホットボンド、木工用ボンド、のこぎり、剪定ばさみ、はさみ カッター、棒やすり、延長コード、ピンセット、油性ペン 紙やすり、作業板 その他：バケツ水

## 4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

## 5 活動の流れ

	内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品を提示しながら、作り方について説明</li> <li>・用具の使い方と安全について説明</li> </ul>	
活 動	<p>① のこぎりで木の枝を適当な長さに切り、迷路の外枠部分を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剪定ばさみを使用する場合は、手を切らないよう持ち方に十分注意する。</li> <li>・木の枝がホットボンドで接着しやすいよう棒やすりで、表面を平らにする。</li> </ul> <p>※棒やすりで手を怪我しないように軍手をはめて作業する。</p> <p>② スタートとゴールを考えて作る。</p> <p>③ 木の枝や松ぼっくり等の自然物を使い、ドングリがうまく転がるようルートを考えながらコースを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のこぎりやカッターなどで自然物を加工する際は、けがに十分注意する。</li> </ul>	
	<p>【例1】「木の枝迷路」 木の枝を使い、直線的なルートで作る迷路</p> 	<p>【例2】「障害物迷路」 自然物を自由に配置し、それをよけながら進んでいく迷路</p> 
	<p>④ 作品にマジックで絵や文字を描き入れ、工夫してもよい。</p> <p>⑤ 完成後は、自分や友達の作品で遊ぶ。</p>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想発表や友達の作品の紹介や鑑賞</li> <li>・用具の返却と後片づけ</li> </ul>	

## 6 実施上の留意点

- ・作品を持ち帰る際を考慮し、あまり立体的な作品や、ホットボンドによる接着が困難と思われる作品についてはなるべく避けた方がよい。また各自で持ち帰る際には、ビニール袋等の準備が必要である。

## 7 安全に実施するためのポイント

- ・ホットボンド使用によるやけどやのこぎり等でのけがを防止するため、なるべく軍手をつけて作業する。
- ・やけど防止用のバケツ水を用意する。
- ・低・中学年が実施する場合は大人がつくことが望ましい

口金がとても熱くなるので、やけどの危険がある。

できたばかりの接着剤もとても熱いので、注意する。



本体が十分冷えてからコードをむすび、返却する。